

森田安徳先生 矢野日出子先生 藤池安代先生 ご退任に寄せて

児童教育学科長 古川知子

本年3月をもちまして、矢野先生、森田先生、藤池先生が退任されます。先生方には、長年にわたり大変お世話になり、ありがとうございました。

ご退任に際し、三人の先生方これまでのご貢献を紹介させていただき、心からの感謝を申し上げます。

本学に着任いただいた年度から、矢野先生、森田先生、藤池先生の順でご紹介させていただきます。

矢野日出子先生は、平成21年4月に本学に着任されました。神戸女学院大学家政学部児童学科を卒業され、幼稚園教諭の免許を取得されました。その後、神戸市立の幼稚園に勤務され、主任・園長・兵庫県教育委員会の指導主事も務められ、兵庫県内の幼児教育の発展に尽力してこられました。

平成19年4月から平成20年3月まで、神戸市立幼稚園長会会長・兵庫県国公立幼稚園長会会長として、他の園長を補佐することで、幼稚園教育の推進役として活躍されました。さらに、平成20年4月から平成21年3月までは、(社)全国幼児教育研究協会協議会監事を務められました。

また、平成6年には神戸市教育委員会より、「第5回神戸市教員海外派遣」制度に選ばれ、中国において語学研修や幼稚園参観等を行い、研鑽を積み重ねました。その間、幼児の成長発達に欠かせない絵本の作成にも携われました。

本学に着任後は、幼稚園教諭や保育士を志望する学生への指導にあたり、優しく温かくも厳しい指導のもと、実践的な保育指導を通し幼稚園教諭や保育士を多く育てていただきました。さらに、中国語の語学力を生かし、本学の提携大学である中国・長春市の「東北師範大学」に附設する幼稚園長研修センターとの交流を始め、日中の幼児教育の発展に尽力されました。矢野先生は、いつも明るくお元気で、私は、先生が居てくださり、ホッと時間をたくさん過ごさせていただきました。

次に、森田安徳先生は、平成23年4月に本学に着任されました。大阪教育大学教育学部養護学校教員養成課程を経て、兵庫県教育大学大学院学校教育研究科障害児教育専攻修士課程を

経て、修士を取得されました。大阪府立の養護学校や吹田市立の小学校教諭、吹田市教育員会学校教育部吹田市立教育センター主幹、大阪教育大学非常勤講師を務められました。

平成13年3月から平成28年3月まで、日本LD学会特別支援教育士養成セミナーの講師、平成14年4月から平成28年3月まで、NHKLD相談会相談員、平成14年4月から平成28年3月まで、特別支援教育士スーパーバイザーを担われるなど、日本における特別支援教育に発展・振興に深く貢献してこられました。

現在は、日本LD学会学会誌編集協力委員、神戸市LD等特別支援事業巡回相談員、神戸市北区発達専門相談相談員等に携わっておられます。

本学においては、入試委員等学科の運営にも中心的な立場でご活躍いただきました。また、学外においても、「森田先生にはお世話になった」「森田先生の講演をお願いしたい」という学校現場の先生方の声をよく聞きました。先生の授業を、是非見学に行かせてください。

そして、藤池安代先生は、平成24年4月に本学に着任されました。京都女子大学短期大学部初等教育科を卒業されました。その後、神戸市立の小学校の教諭として勤務され、小学校理科教育研究のために神戸大学教育学部での内地留学や生活・総合学習の誕生に合わせて、文部省の海外研修でヨーロッパでの研修を経験し、教頭、校長、神戸市教育委員会神戸市総合教育センター研修専門員・研修課指導主事、大阪教育大学非常勤講師等を務められました。

先生は、とりわけ「小学校生活科」に関する研究活動に積極的に尽力してこられました。

着任の前後を通じて、様々な研究会活動において、講演・実践発表を重ねてこられています。

教科書や指導書、教材の作成等にも携わっておられ、全国における小学校教育に、大きく貢献してこられています。先生が執筆された著書・論文も相当数あります。何より素晴らしいのは、研究や教育実践への想いや情熱を常に持ち続けておられるところです。

学生に対しては、しっかりと厳しい指導をしていただいています。とても優しく、学生からは「おかあさん」と親しまれておられます。

私は、先生とお話をさせていただく時間がとても貴重でした。何をどうすべきかという観点で、いつも的確に助言していただきました。

以上、3人の先生方には、心から感謝の意を表したいと思います。ご退任後も本学の教育活動に参画いただくようお願いいたします。